

ピアノコンサート

鈴木 啓資
Keishi Suzuki

2019.11.22(金)

16:00～16:45

国立国際医療研究センター病院
地下1階アトリウム

NCGM hospital
B1F Atrium

～プログラム～

- ☆ドホナーニ:パストラール
(ハンガリーのクリスマスの歌「天上より天使がおりてくる」による)
- ☆ドホナーニ:狂詩曲第3番Op.11-3
- ☆ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第27番Op.90より
- ☆その他

※動画撮影・録音、SNSへの掲載はお断りします。
※お知らせは、病院ホームページにも掲載しています。
医療の質向上委員会



鈴木 啓資 Keishi Suzuki



静岡県島田市出身。静岡県立藤枝東高等学校を経て、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。ハンガリー政府給費奨学生として、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学(リスト音楽院)ピアノ修士課程を首席卒業。

大学3年次に大学より短期留学奨学金を得て、フィンランドのシベリウス音楽院に留学。2017年、世界的なリストの権威、Leslie Howard氏が審査委員長をつとめる、The Liszt Society International Piano Competition (イギリス)で優勝。氏に音楽性と才能を認められた。平成30年度 島田市芸術文化奨励賞受賞(史上最年少)。この他にも国内外で受賞を重ねている。

ピアノデュオにも力を入れており、大学3、4年次の学内試験においてトップの成績を修め、修了演奏会に出演。大学の学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会に出演。第37回ピティナ・ピアノコンペティション2台上級部門ベスト4賞など、アンサンブルでも高い評価を受けている。また、指揮者としての活動もしており、とりわけ弾き振りには積極的に取り組んでいる。日本のみならず、留学先のハンガリーではAnima Musicae室内管弦楽団と弾き振りで共演するなど、海外においても弾き振りの活動を行ってきている。

アルディフィルハーモニー管弦楽団主宰、エト・フィルハーモニックスゼネカー指揮者。現在、東京音楽大学大学院博士後期課程2年に在籍。ハンガリー留学経験を生かし、ハンガリーの音楽家、エルネー・ドホナーニについて研究している。ピアノを村上隆、ガーボル・ファルカシュの各氏に、論文を村田千尋氏、指揮を野口芳久氏に師事。ピアノおよび指揮活動を活発に行うとともに、後進の育成やラジオ番組出演など、幅広い活動を繰り広げている。2018年3月デビューアルバム「Memories from Eastern Europe」を発売し好評を得ている。